

- □ ----- □ ■
- ニュースレター第8号**
<TOPICS>
- ◆【日本メモロ1周年】ご挨拶(代表富田直子、初代代表発起人チンツァ・ドルチーニ)
 - ◆【滋賀大学「MEMORO」講義】日本メモロ「記憶の銀行」滋賀大学講義ご報告(10/25、26)
 - ◆【SWS 講評会(11/10)速報！】「MEMORO サマーワークショップ(7/23)」参加者作品講評会
 - ◆【メディア掲載】『ダイヤモンド・オンライン(10/27)』
- □ ----- □ ■

みなさま、こんにちは！ MEMORO「記憶の銀行」です。

季節はめぐり、今月は霜月。名残の秋を惜しみつつも冬支度へ…。日本メモロが立ち上がったのも、ちょうど1年前のこの季節でした。無事に1周年を迎えられましたことを感謝するとともに、スタッフ一同、気持ちも新たに、これからも努力を積み重ね、果敢にチャレンジしてまいります。引き続き、みなさまのあたたかいご支援、動画の投稿をお待ちしております。

□ ■ -----

【目次】

- 1) 日本メモロ「記憶の銀行」1周年ご挨拶(代表富田直子、初代代表発起人チンツァ・ドルチーニ)
- 2) 滋賀大学「MEMORO」講義ご報告(10/25、26)
- 3) 【11/10】「MEMORO サマーワークショップ(7/23)」参加者作品講評会速報！
- 4) メディア掲載『ダイヤモンド・オンライン(10/27)』
- 5) 今月のおすすめ動画：シリーズ「岡田茂(2) 戦後の食糧難」※日経新聞取材ご協力

□ ■ -----

1) 日本メモロ「記憶の銀行」1周年！感謝のご挨拶

日本メモロもおかげさまで1周年を迎えました。

思い起こせば1年前、2009年10月30日の朝日新聞に掲載された「MEMORO」の記事を読み、何かが始まる予感を感じてイタリアへ問い合わせたのが、日本メモロがスタートするきっかけでした。日本語ウェブサイトの立ち上げにはじまり、オフィシャルセミナーやワークショップの開催、内閣府へのNPO法人申請手続きなど、あまりに怒涛の1年、本当に走り抜けた1年でした。このニュースレターを読んでくださっているみなさまをはじめ、「MEMORO」に共感し、励まし、支えてくださったたくさんの方々に、言い尽くせない感謝の気持ちを感じています。本当にありがとうございます。

「MEMORO」は1人ひとりが創るメディア、誰もが参加し共有できる未来への財産です。みんなで「MEMORO」を創っていきましょう。

日本メモロ「記憶の銀行」代表 富田直子

【◇◆◇祝辞◇◆◇】

日本メモロ1周年おめでとうございます。チンツァ・ドルチーニです。

9月に本国イタリアへ帰国し、2010年11月2日からトリノの「MEMORO」本部で、世界担当として働きはじめました。「冬のオリンピックの街」として知られるようになったトリノは、リソルジメント(イタリア統一)後の1865年までイタリア王国の首都だったところで、歴史のある街として結構面白い都市であると思います。

ちなみに、2011年はリソルジメント150周年なので、トリノをはじめ、イタリアのいろんな街でさまざまなイベントがあると思います。是非みなさまも機会がございましたら、来年のイタリア観光をおすすめいたします。「MEMORO」が、世界中に広がって、各国の歴史、習慣、文化などが身近になることはとても面白い経験だと思います。「MEMORO」世界担当として責任は重いですが、日本メモロ設立の経験を生かして、各国をサポートしたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

チンツァ・ドルチーニ(日本メモロ初代代表発起人/「MEMORO」本部世界担当)

□ ■ -----

2) 日本メモロ「記憶の銀行」滋賀大学「MEMORO」講義ご報告(10/25、26)

【滋賀大学に行ってきました！】日本メモロ「記憶の銀行」代表 富田直子



去る 10 月 25 日、26 日の2日間、滋賀大学の彦根キャンパスにお招きいただき、3コマ 250 名を超える学生さんの前で「MEMORO」の講義をさせていただきました。特に最初のジャーナリズム論の中では「MEMORO」の概要と、そして「MEMORO」の仲間たちの話(日本で事務局に携わる 10 名以上のスタッフ及び立ち上げ準備中の国も含め世界 15 カ国のスタッフから事前にアンケートをとり、それぞれのバックグラウンドや参加理由などを収集)を中心に、講義を展開。一番伝えたかったのは、1 人ひとりにそれぞれの「MEMORO」があること、そうした想いの集合体が「MEMORO」の本質であること、そして学生さん 1 人ひとりにもそれぞれの“意義”や“意味”を「MEMORO」の中に見出していただきたいということ。

講義後の感想文には、学生のみなさん 1 人ひとりが感じた、新しい「MEMORO」の魅力が溢れていました！

(以下、抜粋)

「世代と世代をつなぐのだけではなく、時間と場所もつなぐのだと思った」

「講義で映像を見ながら最初は“へー”と思っていたが、ふと、この瞬間はこの教室のみんなに記憶が伝わっている瞬間なのだと思った」

「私も未来に残せる記憶を持てるような人生を送りたいと思った」

誰もが撮影者になり投稿者になれる参加型のメディアだからこそ、1 人ひとりの想いが「MEMORO」を創り出す…。滋賀大学のみなさんの想いを取り込んで「MEMORO」はまた大きく成長しました。

滋賀大学のみなさん、そして素敵な出会いの場と機会をご提供くださった只友景士(ただともけいし)先生、土江真樹子(つちえまきこ)先生に、この場を借りて「MEMORO」一同、心から感謝を申し上げます。

□ ■ -----

3)【11/10】「MEMORO サマーワークショップ(7/23)」参加者作品講評会

11 月 10 日(水)、日本メモロ「記憶の銀行」主催の『MEMORO サマーワークショップ 2010』に参加されたみなさんと講師・スタッフを交えて動画作品の講評会を行いました！講師の方からの講評では、インタビュアーとしての手法の観点から、また映像ディレクターの視点からそれぞれの講評をお伝えし、取材・撮影を経験してみたの感想などもざっくばらんに語り合いました。



【動画作品紹介第3弾！】 サマーワークショップに参加いただいた西巻博さんの作品をご紹介します。



「来し方」

<http://www.memoro.org/jp-jp/video.php?ID=4615>

1930 年(昭和5年)生まれ、竹沢 英次(たけざわえいじ)

□ ■ -----

4)メディア掲載最新情報！『ダイヤモンド・オンライン(10/27)』

メディア掲載の最新情報をお届けします。

●ダイヤモンド社のビジネス情報サイト『ダイヤモンド・オンライン』に、日本メモロ「記憶の銀行」についての記事と代表富田直子のコメントが掲載されました。是非、ご一読ください。

【消費インサイド】第2回

「高齢者の思い出を“遺産”として後世に残す？ 動画アーカイブ「記憶の銀行」が静かなブームに」

<http://diamond.jp/articles/-/9865>



5) 今月のおすすめ動画: シリーズ「岡田茂(2) 戦後の食糧難」



「岡田茂(2) 戦後の食糧難」

<http://www.memoro.org/jp-jp/video.php?ID=4690>

1933年(昭和8年)生まれ、岡田 茂(おかだしげる)※日経新聞取材ご協力

中学1年生で迎えた終戦。東京・世田谷の家が空襲で全焼し、戦災者となった岡田家6人は親戚の家に身を寄せながら、戦後の食糧難の中を生き延びます。子どもたちも大人も、みんなお腹がすいていた時代でした。



【マニュアル UP 情報！】

～「★撮影・編集の手引き」を新しくアップしました！～

撮影の手引き Ver.3.0 new!

(<http://memorojp.files.wordpress.com/2010/10/e692aee5bdb1e381aee6898be5bc95e3818dver-3.pdf>)

動画編集手順(編集)_初級編 new!

(<http://memorojp.files.wordpress.com/2010/10/e58b95e794bbe7b7a8e99b86e6898be9a086e58b95e794bbe7b7a8e99b86e7b7a8-e5889de7b49ae7b7a8.pdf>)

◆詳細はこちらから⇒★撮影・編集の手引き (<http://memorojp.wordpress.com/manual/>)



【ご寄付・ご支援のお願い】

～皆さまのあたたかいご支援をお待ちしております～

◆詳細はこちらから⇒ <http://memorojp.wordpress.com/fund/>



【IT ボランティア募集！】

MEMORO「記憶の銀行」では、私たちの活動に賛同して下さる「IT ボランティア」を募集しております。スタッフはそれぞれみな本業を持っています。夜や週末だけの活動も OK です。どしどしご応募ください！

条件: IT・パソコンに詳しい方で英語ができる方(イタリアとのやりとり有り)※英語ができなくても、もちろん大歓迎です！

◆お問合せ・ご応募はこちらから⇒ info.jp@memoro.org

□ ■ MEMORO について

MEMORO「記憶の銀行」は、70歳以上の方々の記憶を残し未来に伝えていくために生まれた無料オンラインアーカイブです。次の世代に引き継ぎたい記憶を広く一般から収集・公開することによって世代間をつなぐこの活動は、2007年にイタリアで産声をあげ、今では世界11カ国に広がっています。 <http://www.memoro.org/jp-jp/progetto.php>

MEMORO「記憶の銀行」 <http://www.memoro.org/jp-jp/> info.jp@memoro.org

=====